

産地情勢 (2022.5.11)

米国産とうもろこし

22%作付が完了した。平年の 50%に対して大きく遅れており、作付面積や単収減の可能性
がある。(5月11日)

米国産大豆

12%作付が完了した。平年は 24%。とうもろこしの作付の如何で大豆の作付面積が増加す
る可能性がある。(5月3日)

ブラジル産とうもろこし

ブラジル中部で乾季が例年より早く訪れたため、サトウ・コーンの生産量の減少が懸念される。
(5月4日)

ブラジル国家食糧供給公社は 2021/22 年産の生産見通しを 115.6 百万トンに 3.3 百万トン
増加した。全国的な記録的早魃被害を受けた前年の 87 百万トンを 33%上回っている。

ブラジル中部が 3 月下旬から乾季入り 5 月上旬まで継続する。4-5 月はサトウ・コーンにとっ
て受粉や結実に水分を要する時期であり、現在 30-40%のサトウ・コーン地域が早魃の影響を受
けているが、今後広がる可能性がある。(4月8日)

夏作の収穫が 58%進捗 (前年 47%) し、冬作の作付が 98%進捗 (前年 90%) した。(3月
23日)

今年は北部中部で多雨となる一方、南部が歴史的な干ばつに見舞われたが、3 月は北部と
中部はかなり雨が少なく、南部では高温乾燥が継続する予報となっており、冬作に大きな
被害を及ぼす可能性がある。(2月15日)

クロップ ^o カレン ダー		作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズ ^o ン・ コーン (夏作)		8-9 月	11-12 月	2-5 月	22%	主に国内 飼料需要 向
サトウ・コーン (冬作)		1-3 月上 旬	4 月	6-8 月	76%	輸出の中 心 大豆収穫 後に作付

ブラジル産大豆

収穫が 85%進捗 (前年 85%) した。(4月6日)

ブラジル国家食糧供給公社は 2021/22 年産の生産見通しを 122.43 百万トン (前年 138.1 百
万トン) に 0.33 百万トン削減した。(4月8日)

収穫が 55%進捗した。

南部の広範囲で乾燥が続いている。アグルーラル社は 2021/22 年産の生産見通しを 122.8 百万トンに引き下げた。アグリソース社は 119.5 百万トンと予想している。

今後まだ数百万トンの下方修正があり得る。(3月8日)

今年は北部中部で多雨となる一方、南部が歴史的な干ばつに見舞われ壊滅的な被害を与えたが、3月には北部と中部はかなり雨が少なく、南部では高温乾燥が継続する予報となっている。(2月15日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクropp カレンダー	9月-12月初 め	1月	1月-4月

アルゼンチン産とうもろこし

収穫は 19% (平年 25%) まで進捗した。(4月20日)

先週は南部で連続して早霜の被害が起きたが、被害の程度は 1~2 週間経過しなければ判明しない。

ブエノスアイレス穀物取引所は、2021/22 産の生産見通しを 49 百万トン、ロザリオ穀物取引所は 47.5 百万トンと予想している。

(4月5日)

夏作は受粉期の天候がラニーニャ現象で高温乾燥になる可能性があるので多くの農家は夏作より冬作の作付けを増やす意向。冬作の割合は 55~60%。(12月21日)

肥料価格が高騰しており、投入量が減少すれば単収も下がる可能性がある。(11月16日)

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は 2 段階に分かれる。	9-11 月始め	12-1 月	3-4 月
	12-1 月	3-4 月	6-7 月

アルゼンチン産大豆

46%収穫 (平年 54%) 3月以降複数回の早霜被害が発生し、単収減や収穫面積の減少が懸念される。(5月4日)

ブエノスアイレス穀物取引所は、2021/22 産の生産見通しを 42 百万トンで据え置いているが南部の霜害で今後の下方修正を示唆している。ロザリオ穀物取引所は 40.5 百万トンで据え置いている。(4月5日)

アルゼンチン大豆には 33%の輸出関税がかかるため、作付面積は過去 15 年で最低となる見通し。(11月1日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクropp カレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Corn+soybean digest より

米国農務省生産量予測 (4月8日)

とうもろこし

(百万トン)

	2019/20	2020/21	2021/22
米国 (9-8月)	346.0	358.5	383.9
ブラジル (3-2月)	102.0	87.0	116.0
アルゼンチン (〃)	51.0	52.0	53.0

米国は 2021/22 年度の生産量変化なし。需要は飼料が 25 百万 bu 減、エタノールが 25 百万 bu 増加で相殺された。単収は史上最高の 177bu/acre、生産量が史上 2 番目の 151 億 bu、期末在庫率は 9.6% で据え置き。

2021/22 年度のブラジルの生産量が面積増加で 2 百万トン上方修正された。

大豆

(百万トン)

	2019/20	2020/21	2021/22
米国 (9-8月)	96.7	114.8	120.7
ブラジル (2-1月)	128.5	139.5	125.0
アルゼンチン (4-3月)	48.8	46.2	43.5

米国は 2021/22 年度の実産量が据え置き、種子需要が 4 百万 bu、輸出需要が 25 百万 bu 増加。

単収が史上 2 番目の 51.4bu/acre、生産量は史上最高の 44.4 億 bu。

期末在庫率は 5.85% に悪化した。

ブラジルの 2021/22 年度の実産量が 2 百万トン下方修正された。

* 北半球の穀物年度は 21/22 の場合、2021 年の月から始まるが南米は 2022 年の月から始まる。(USDA)